

第3回 あげお未来創造市民会議 会議録

1. 日 時 令和元年7月6日(土) 9時00分～11時30分

2. 場 所 上尾市役所7階大会議室及び701会議室

3. 出席者 委員：飯塚 純 ・伊原広茂 ・大木晴夫 ・大澤サユリ ・大塚常司 ・岡部千里 ・小川和男 ・河原塚透 ・桐原陽子 ・小島 勝 ・鈴木靖代 ・関本正弘 ・高橋雅之 ・刀根正克 ・中澤正俊 ・野田紘良 ・能登 貢 ・萩原和也 ・本城文夫 ・増田澄雄 ・的場保子 ・宮田敬生 ・矢島通夫 ・山尾三枝子 ・山口 直
(欠席委員 市倉育江 ・小川早枝子 ・木村功一 ・小牟田健治 ・竹村絵里)
事務局：行政経営課野崎課長 ・本郷副主幹 ・東海林主任 ・三浦主任
加勢カチム：永澤副主幹 ・松本主査 ・鈴木(彰)主任 ・大橋主任 ・鈴木(陽)主任
吉岡主任 ・野澤主任 ・林主任 ・細井主任 ・石川主任 ・野間主任
コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

4. 次 第

〈第3回あげお未来創造市民会議〉

- 1 開会
- 2 グループ討議
・シナリオプランニング②～望ましい上尾の姿の実現のために～
- 3 その他
- 4 閉会

5. 配付資料 次第

あげお未来創造市民会議委員名簿
あげお未来創造市民会議～第3回資料～
上尾市の望ましい姿の実現に向けた具体的な取り組み
上尾市の未来についてのシナリオプランニング

6. 議事概要

〈第3回あげお未来創造市民会議〉

1 開会

委員長：皆さま、おはようございます。本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。これより、第3回あげお未来創造市民会議を始めさせていただきます。はじめに事務局から配付資料の確認をさせていただきます。

《事務局から配付資料の確認》

2 グループ討議

委員長：それでは、次第に沿って進めてまいります。次第の2「グループ討議」についてですが、今回はシナリオプランニングという手法を用いて、各グループが2軸を設定し、「上尾市の望ましい姿」について議論したところです。これに続き今回は、「上尾市の望ましい姿」を実現するための具体的な取り組みについて議論していただく予定です。

《コンサルタントが「あげお未来創造市民会議～第3回資料～」に基づき、前回の議論のあらましや本日の協議テーマ、協議の方法などについて説明》

《4グループに分かれ、将来の望ましい上尾の姿について議論し、発表した》

委員：Aグループでは、「望ましい姿」を「人口が維持され、コミュニティ力が保たれている状態」とした上で、実現に向けた取り組みを「人口」「コミュニティ」の2つの切り口から検討しました。まず「コミュニティ」については、防災訓練に若者や外国人が参加しやすい仕組みづくりが重要ではないでしょうか。子ども向けの訓練とすることで、親の積極的な参加も望めるかもしれません。また、小さい単位での地域のまとまりを構築していくことも大切です。例えば、隣近所で日頃からあいさつをしたり、近隣住民と知り合える場を設けるなどして、市民同士が互いのことをもっとよく知る機会をつくることも大切だと思います。いずれにしても、この会議で強調されている「協働」の概念を柱に取り組みを進めることが重要だと考えます。一方、「人口」の増加についてはまず、安全安心なまちをアピールすることがとても大切だとの意見がありました。プライバシー確保の観点からもちろん制限はありますが、子ども、高齢者、外国人など、避難時に配慮が必要な人の情報を共有したり、危険箇所など地域の実像を詳しく知っておくことが必要ではないでしょうか。人口増に向けては、若者に魅力あるまちづくりも大きな課題で、例えば学校給食を無償化するなどの子育て支援策も考えられます。また、高齢者や障害者に優しいまちは、誰にとっても住みやすいまちだと考えられるので、ぜひ取り組みを進めるべきだと思います。このほか、緑の多いまちづくりも、地域の魅力を向上させるのではないかとこの意見がありました。

コンサルタント：「コミュニティ」「人口」を軸に、ご協議いただきました。「コミュニティ」については、若者や外国人などが参加しやすい防災訓練の実現など、新しい視点をご提案いただき、「人口」については、安全安心、子育てのしやすさ、高齢者や障害者への配慮、緑の多さなど、今後充実させた上でアピールしていくべき点についてご意見をいただきました。

委員：Bグループでは、「健康で誰もが生き生きと暮らせる社会」を最終的な目標とした上で議論したところ、前回に引き続き、望ましい「状態」に関する具体的な意

見もいくつか出ました。まず、ノーマライゼーションですが、公共施設のスロープなどのバリアフリーの推進がまだまだ課題だと感じています。次に外国人との共生ですが、上尾市には現在、4,000～5,000 人ほどの外国人が暮らしているそうです。特に医療や防災などについて不安を感じる方もいるのではないのでしょうか。ぜひ多言語翻訳機などの導入を進めて、円滑なコミュニケーションを図るべきだと思います。また、日本の文化や言葉遣いなどに関する勉強会を催すのも効果的だと思います。このほか、特に男性の高齢者について、退職後、家にこもりがちになってしまう方も多いと聞いておりますので、こうした方々の社会参加を促す方策も検討していかなければならないと思います。

コンサルタント：「健康で誰もが生き生きと暮らせる社会」を最終的な目標として、改めてそれが具体的にどのような状態なのか、実現するための取り組みは何かを協議いただきました。外国人との共生については、外国人が食生活改善推進員など各種団体に参加してはどうかといった、Aグループで出た外国人の防災訓練への参加促進に関する意見とも通じるところをご提案をいただきました。

委員：Cグループは「シティセールス」「市民活動・コミュニティ支援」が共に機能することを最終的な目標としつつ、改めてこれを細かく分解した具体的な「状態」と、実現するための「取り組み」につき、「地域づくり」「産業」「観光」といった切り口から議論しました。まず、何よりも大事なものは「人口増」「若者の移住」「観光客増」です。その実現に向けては、子育て世代に対して「災害に強いまち」「住んで安心・安全」をPRすることが考えられます。上尾市は2万年前から陸地であり、関東大震災の際も大きな被害はなかったといえます。また、上尾市には多くのスポーツ施設があり、年間に170万人の人が訪れるとのデータもありますが、彼らに上尾市の魅力を訴えていくことも大切ではないのでしょうか。2点目として「市民が自分のまちを知っている・関心がある」状態も重要です。「花いっぱい運動」などを通して市民がまちに関わる機会をつくったり、市のコンシェルジュを設置してさまざまな相談を可能にしたりするほか、年間のイベント情報やカフェ等の飲食店、お店、農園、企業、工業など上尾市の情報をチェックできるポータルサイト「あげポタ」をもっと活用していくことが考えられます。3点目として、「企業が増える・活性化する」状態も目標となります。上尾市には中小企業が数多くあり、操業支援に取り組むなどの方策が求められるのではないのでしょうか。このほか、全ての取り組みの前提として、市民目線で考えられる職員を増やすなどして「住民のニーズを吸い上げやすくする仕組みづくり」も重要と考えます。

コンサルタント：「シティセールス」「市民活動・コミュニティ支援」を軸にご協議いただき、外向き、内向きのPRに関するご意見をいただいたほか、企業活動の振興についてもお考えいただきました。

委員：Dグループは「特色ある特化した教育」「子育てがしやすい」の2軸に基づき議論しました。まず、教育については、上尾市の特徴として、電子媒体を活用したe

ラーニングの取り組みが盛んである点が挙げられると思いますが、周知が課題だと思います。また、市内の地域によって学力に差が見られる傾向があるので、現状を踏まえた対策が求められます。次に子育てについてですが、上尾市には子育て支援に関わるさまざまな団体があるにもかかわらず、あまり知られていないのが現状であり、イベントなどを活用して子育て世代に各種団体のことを知ってもらうことが必要だと思います。また、埼玉県には「パパ・ママ応援ショップ」という子育て家庭への優待制度があり、18歳に達して次の3月31日を迎えるまでの子どもや妊娠中の方がいる家庭に配布している「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を協賛店で提示すると、割引などのサービスが受けられます。これを基に、子育て世代のニーズを捉えた各種問い合わせ先を記載した上尾市版の「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を作成・配布すれば、市内の商店の消費額増も望めるほか、子育てのしやすさの向上にもつながるのではないのでしょうか。このほか、子育て支援の大前提として、地域全体で子育て世代に優しい空気を醸成していくことも重要との意見がありました。

コンサルタント：「子育て」と「教育」を軸に協議いただき、地域全体で子育て世代に優しい空気を醸成していくことが重要であるとの前提に立って、上尾市版の「パパ・ママ応援ショップ優待カード」を作ってはどうかといったご意見をいただきました。さて、本日もさまざまなご提案をいただきましたが、大きく論点を分類すると「上尾市に人を増やすためにどのような強みのPRが必要か」といった「外向き」の意見と、「すでにいる人たちの生活をどう充実させていくか」といった「内向き」の意見に大別できるように思います。次回以降は、これまでの議論を踏まえ、基本構想における「基本理念」や「将来都市像」についてご協議いただきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

委員長：本日も大変お疲れ様でした。大変議論が深まったと感じております。続いて、次第の3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

3. その他

《事務局から、第4回会議は8月9日（金）、第5回会議は9月27日（金）の開催を予定している旨、連絡があった。》

4. 閉会

委員長：そのほか、委員の皆さまからご意見はございますか。なければ、以上をもって第3回あげお未来創造市民会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

以上